

事務事業名	森林バイオマスエネルギー事業	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課	
総 計 画 体 系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	林業グループ	課長名	高橋 司
	施策名	(35)林業の振興	担当者名	蘆田裕樹	電話番号	0854-40-1050 (内線) 2412
	目的 対 象	市内の森林	意 図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 1 3 業名
	基本事業名	(103)森林資源の活用	意 図	資源として活用する。	林業振興事業	森林バイオマスエネルギー事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	森林資源の活用方法として、市内森林の林地残材を化石燃料(灯油等)の代替燃料(木質チップ)として利用することで林業需要の創出や森林整備を図っていく。 また、市民参加による林地残材の収集システムを構築し、収集対価に地域通貨を利用することで地域経済の活性化を図っていく。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)
	② 活動指標	単位	H29年度(実績) H30年度(実績) R元年度(実績) R2年度(計画)
	■森林バイオマスエネルギー事業委託 ・事業システム管理業務 ・地域通貨「里山券」管理業務 ・地域通貨「里山券」換金 ・登録者及び林業技術講習会の開催	■森林バイオマスエネルギー事業委託 ・事業システム管理業務 ・地域通貨「里山券」管理業務 ・地域通貨「里山券」換金 ・登録者及び林業技術講習会の開催	
	■チップボイラー燃焼灰処理業務		
	ア 市民参加型収集運搬登録者	人	328 335 348 350
	イ 市民参加型収集材積	t	1,180 1,099 954 1,500
	ウ		
	エ		

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	雲南市内の森林	ア 雲南市森林面積	ha	43,543	43,532	43,530	43,530
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	木材生産量を拡大する。	ア 木材生産量	m ³	32,806	30,403	21,784	30,000
		イ 市有林の整備面積	ha	114.0	80.8	62.8	100.0
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
(1)森林バイオマスエネルギー事業委託(市民参加型収集運搬システム運営等) 事業費: 8,640千円	財源内訳	千円	1,224			
(2)仮設ストックヤード借地料 事業費: 360千円	国庫支出金	千円				
(3)チップボイラー燃焼灰分析処理 手数料: 2,882千円	県支出金	千円				
(4)チップボイラー燃焼灰処理 事務費: 45千円	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	8,367	9,231	11,927	11,134
	事業費計(A)	千円	9,591	9,231	11,927	11,134
	人件	人	4	3	4	
	正規職員従事人数	時間	1,000	800	1,130	
	延べ業務時間	千円	4,077	3,466	4,791	
	人件費計(B)	千円	13,668	12,697	16,718	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
市民参加型収集運搬システムの登録者は年々増加しているが、実際に林地残材の搬出を行っているのは登録者の3割程度であり、搬出量は伸び悩んでいる状況。登録者の高齢化や比較的に搬出できる山林が減ってきていると推察される。また、燃焼灰処理について、これまで環境省通知に基づき処理及び成分分析を行ってきたが、六価クロム化合物等が検出されたため、産業廃棄物として適正処理することになった。	・H28.10月～ 森林組合等への林地残材搬出補助の引き上げ(1トあたり1,500円⇒3,000円)。 ・H30.4月～ チップ供給単価の見直し(1トあたり16,000円⇒22,000円、絶乾トンベース、税別)	森林バイオマスエネルギー事業への市民参加の促進、搬出量増加を図るための林地残材搬出時の労力軽減策及び買取単価の値上げを検討すべきとの意見がある。

事務事業名	森林バイオマスエネルギー事業	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由 市民登録者は年々増加しているが、林地残材の搬出量は横ばいで推移している。さらに登録者を拡充するとともに、安全で効率的な搬出技術の向上や搬出労力の軽減策も検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由 市においては、7つの公共施設にチップボイラーを導入し、木質バイオマス利用によるエネルギーの地域内循環を進めることとしている。再生可能エネルギーによる循環型社会の構築のために継続していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
A 目的 妥当性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由 類似事業はない。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
B 有効性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 市民周知のための事業PR、講習会の継続開催による登録者拡充、安全対策などもまだまだ必要であり、これ以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由 適切で計画的な事務事業実施に努めているため削減は出来ない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由 市内全域の森林及び市民をを対象として実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 平成30年度の市民参加型収集運搬システムによる収集実績は1,099トンであった。平成30年度末現在、6施設においてチップボイラーが稼働している状況において、チップの安定供給に向けて原木確保を計画的に進める必要がある。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>・木質チップの安定供給が図れるよう、引き続き事業のPRを積極的に行い、事業への市民参画の促進を図って行く必要がある。</p> <p>・登録者のグループ化の推進や、効率的な搬出、運搬方法の検討、林業技術講習会による技術向上等により、搬出量の増加を目指す。</p> <p>・今後のチップ需要を考慮した場合、市民による搬出材のみでは対応が困難であるため、森林組合等との連携により、原木の安定確保とチップ供給サイクルの確立をしていかなばならない。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		